

企業団 ニュースレター



第 20 号
(令和2年3月発行)

災害や事故に備えて加圧式給水車を配備しました

加圧式給水車とは？

給水車は、災害や事故が発生したときでも、避難所や給水箇所において、飲料水の応急給水を行うことができる車両です。

加圧式ポンプが搭載されていますので、公共施設や病院などに設置された受水槽への補給や応急給水用の給水袋・ポリタンクへの給水も短時間で効率的に行うことができます。

加圧式給水車の概要

車 両 ディーゼル車（排気量3,000cc）

装 備 等 飲料水タンク（ステンレス製1,600ℓ）、加圧ポンプ（全揚程30m）、吸入配水口（全3箇所）、赤色警光灯、サイレン、放送設備



給水車

ご家庭での飲料水の備蓄

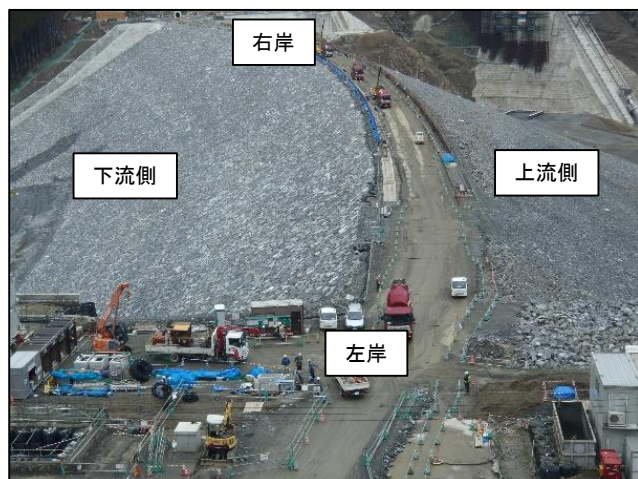
災害発生の直後は、交通渋滞などにより応急給水活動には時間がかかることも予想されます。「いざ」という時に備えて、普段から常に水を確保するようにしましょう。

各家庭での飲料水の確保については、国は「1人1日3リットルの飲料水を3日分」備蓄することを勧めています。

＜小石原川ダム建設事業の進捗状況について＞

小石原川ダムは、令和元年9月にダム堤体の盛立が完了し、12月から試験湛水を開始しました。

試験湛水とは、ダムが完成した後に行う、貯水してダムに問題がないかをチェックするための試験です。試験湛水では、ダムの本格的な運用を始める前に洪水時最高水位（サーチャージ水位）まで実際に水を貯めてから、最低水位まで放流し、ダム本体、放流設備、貯水池周辺等の安全性を検証します。



ダム天端の施工状況



試験湛水状況（令和2年2月19日）

＜筑後川水道三企業団協議会 三部会事業報告会を開催しました＞

福岡地区水道企業団、佐賀東部水道企業団、福岡県南広域水道企業団の3つの企業団は、筑後川に係る共通課題について検討することなどを目的に『筑後川水道三企業団協議会』を設置しています。

この協議会には、水質・工務・事務の3つの部会が置かれ、それぞれの専門分野に関する調査研究等を協力して行っています。

令和元年12月13日（金）、久留米シティプラザにおいて、令和元年度の各部会の活動成果の発表を行う事業報告会を開催しました。各報告については、活発な質疑応答が行われ、有意義な報告会となりました。



事業報告会の様子（久留米シティプラザにおいて）

＜発表内容＞

【水質部会】（発表担当：福岡地区水道企業団）

「外部精度管理及び水道技術研究センター九州・中四国研究会聴講報告」

【工務部会】（発表担当：福岡県南広域水道企業団）

「横浜国立大学第11回シンポジウム『持続可能な水道システムの確立』聴講報告」

【事務部会】（発表担当：佐賀東部水道企業団）

「人材育成等に関する他団体等調査・研究（京都市上下水道局）」

【その他（日本水道協会全国会議発表論文報告）】

「油類の定量的評価方法の検討」（福岡県南広域水道企業団）

「残留塩素検査方法の検討」（福岡県南広域水道企業団）

＜荒木浄水場浸水対策工事が完了しました＞

河川の氾濫により、浄水場が浸水した場合、ポンプ等の冠水により送水できなくなる恐れがあります。これらの復旧には時間を要するため住民生活に深刻な影響を及ぼすことになります。

このようなことを未然に防止するため、今年度、脱着式の止水板による浸水対策工事を実施しました。

今後は、浸水被害を想定した対応手順を整備するとともに、これに基づく設置訓練を定期的を実施します。



脱着式止水板の設置状況

＜小石原川・佐田川ノーポイ運動に参加しました＞

11月19日に「小石原川・佐田川ノーポイ運動」が実施されました。

この活動は、小石原川（江川ダム周辺）と佐田川（寺内ダム周辺）の環境保全を目的に、空き缶等の回収イベントとして独立行政法人水資源機構が開催し、福岡県、利水団体、漁協関係者など多くの方々が参加しています。

当企業団からは、4名が参加しました。ペットボトルや空き缶だけではなく、廃タイヤなどの大きなゴミもあり、回収したごみの量は、240kg（軽トラック4台分）にものぼりました。



佐田川ノーポイ運動終了後の集合写真

＜令和2年度水質検査計画の策定について＞

水道水の水質検査については、水道法に基づいて、毎年度、水質検査計画の策定と公表が義務付けられています。水質検査計画とは、水質検査を「どの場所で」「どのような項目を」「どのくらいの頻度で」行うかを定めたものです。

企業団では、令和2年度の水質検査計画について、水道需要者の皆様のご意見を反映させた上で、3月末までに作成します。この水質検査計画は、企業団のホームページやお住まいの市や町の水道担当窓口でご覧になれます。

<https://www.sfwater.or.jp/jyouhoukoukai/anzen/keikaku-kekka.html>

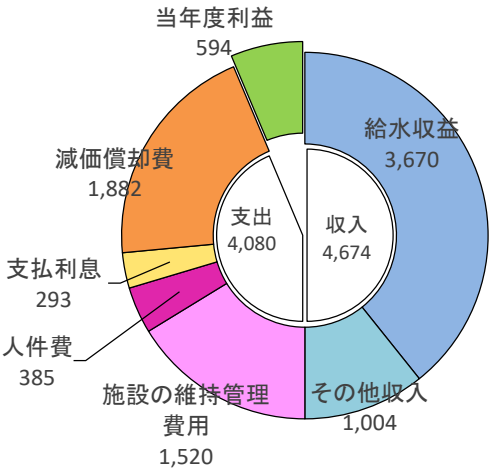
福岡県南 水質検査計画

検索

令和2年度予算概要

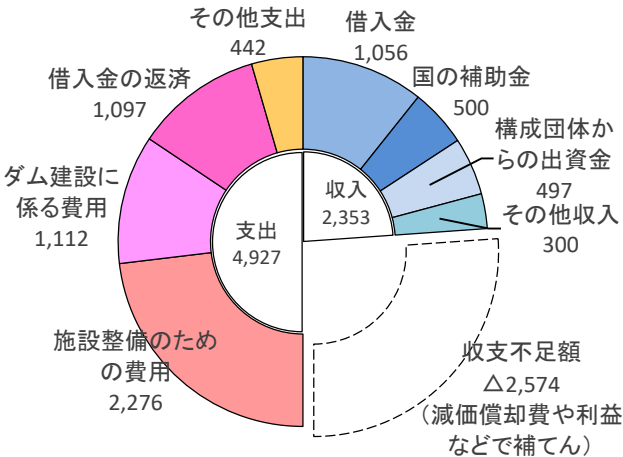
収益的収入および支出
＜水道水の供給に要する収入・支出＞

(消費税込み 単位:百万円)



資本的収入および支出
＜水道施設の整備や借入金の返済などに要する収入・支出＞

(消費税込み 単位:百万円)



構成団体への供給水量(8市3町1企業団)

項目	令和2年度
一日平均供給水量	101,708m ³
年間総供給水量	37,123,420m ³

主な事業

- 第二期拡張事業～施設の拡張整備～
○構成団体へ水を送る送水管の布設工事
- 改良事業～施設の更新や災害への備え～
○改良更新事業
・導水ポンプの増設
・浄水施設の電気機械設備の更新
○水質検査機器等の更新

＜浄水ケーキ「すくすく」の配付を当分の間、中止します＞



浄水ケーキ「すくすく」
(約20L/袋)

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、浄水ケーキ「すくすく」の配付を当分の間、中止します。
配付再開の時期については、決まり次第、ホームページでお知らせします。

浄水ケーキ「すくすく」とは、荒木浄水場で水道水をつくるときにできる土で、野菜や花づくりなどに利用できます。

「企業団ニュースレター」に関するご意見、ご要望は下記へご連絡をお願いします。

【お問い合わせ先】

福岡県南広域水道企業団 総務部 企画財政課

TEL：0942-27-1561 FAX：0942-27-1795

E-Mail：kikaku@sfwater.or.jp ホームページ：<https://www.sfwater.or.jp>

